

地域魅力化型指定校 (C1910)

# 浜松学芸高等学校

「地域創造コース」による地域の活性化に挑む学校

地域創造コース プロジェクトリーダー  
大木島 詳弘

「父を迎えに」  
晩飯は仕せておけど入口をみたいた父  
練習の帰りに靴になって帰ってみれば  
まだ坊主でバケツは空っぽのまま  
「お母さんには内緒にしておいてあげるから  
帰りにお母さん告げて帰る」  
私がそう言うとうばつの息苦しい父の顔  
父の表情は色鮮やかな思い出で彩られている  
「お父さんの表情はどんな色ですか？」



# 1. 事業概要

## ①衣食住の身近な観点から地域の魅力発信に取り組む

衣

地場産業の活性化  
繊維産業との協働



白井商事様との協働  
【染色プロジェクト】

食

地産地消の促進  
農業の6次産業化  
エシカルな取組



コンソーシアムとの協働  
【おにぎりプロジェクト】

住

景観への取り組み  
林業との協働



三ヶ日観光協会との協働  
【観光甲子園】

提案  
還元

提案  
還元

持続可能な地域の創造

- ・地域の魅力発信
- ・高校生発のイノベーション

提案  
還元

- ・地域密着型の活動により、様々な人たちと協働する将来の地域の担い手を育成
- ・プロジェクト型学習により、1つではない答えを求める課題解決力を育成
- ・各分野のプロフェッショナルとの協働により、長期的なライフキャリアを育成

「地域を学ぶ」 → 「地域で学ぶ」

# 1. 事業概要

## ②地域の魅力発信にArtの観点を取り入れた教科横断型プロジェクト

### 【アイデアを形にする力をArtと定義】

#### STEM教育

Science 科学  
Technology 技術  
Engineer 工学  
Mathematics 数学



#### STEAM教育

**Art(芸術)**  
アイデアを形にする・  
表現する力の根幹

### 【教科横断型プロジェクト(ESDの視点)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
英語							英語字幕作成			プレゼン練習		
数学		観光統計処理 理論の裏付け							データ作成			
音楽			音源制作									
国語			エントリー 書類				動画 テキスト	決勝 資料 作成		プレゼン 練習		
情報	情報収集		エントリー 書類			動画編集			データ作成			
美術						動画撮影						
地歴	情報収集				撮影地選考							
地域	フィールドワーク	エントリー 書類		撮影プラン			決勝資料制作		プレゼン 作成	プレゼン 練習	結果振 り返り	次年度勉 強会



▲染色プロジェクトの市販化  
(浜松市ECサイトにて受注販売)



▲観光甲子園での提案パネル  
(第16回高校生CMコンテスト グランプリ作品)

- 多様な個性と表現力を持つ生徒達が、様々な視点を融合させることで生まれる対話の場
- 多様性を受け入れるからこそ生まれるイノベーション
- アイデアが地域の方々に受け入れられることによる自己肯定感の高まり

# 1. 事業概要

## ③実践の教材パッケージ化による、取り組みの共有と拡散

自地域でしかできない  
取り組みからの脱却



▲天竜浜名湖鉄道ポスター（公式）  
（天浜線勝手に応援団として6年目の活動）

「地域で学ぶ」ための  
ノウハウを教材化



▲他県の高校との協働プロジェクト  
（左：繆ヶ沢高校 右：三浦学苑高校）

様々な地域で実践できる  
プラットフォームを整備



▲修学旅行での実践・検証  
（熊本県南阿蘇～大津町で実施）

協働の打診や取り組みの問い合わせが増加

各校において取り組みの体制や時間数が違うことが課題

「地域での学び」を教材化することと共有するためシステムづくりが急務

## 2. カリキュラムの開発成果

### ①学びの系統性 3年間の系統性

#### 3年間のフロー

#### 1年生

- ・ 多様な視点と価値観
- ・ 企画 - 実行 - 発信力
- ・ プロジェクトを通じた企業や仲間との協働
- ・ アイディアを具体化し自己肯定感を向上
- ・ 郷土理解を進める

#### 2年生

- ・ 地域のフィールド調査を通じた課題発見
- ・ 外部コンテストや報告会を通じた地域の魅力発信
- ・ 外部コンテストを活用した客観的評価

#### 3年生

- ・ 地域課題解決に向け、プロと協働して実現化に取り組む
- ・ 学年を横断した取り組みを通じ、企画の実践者且つor兼指導者となる
- ・ 希望進路の実現

大学での学びへ

プロジェクト型学習

クエストエデュケーション

キャリア形成

アイデアを形に

企画・実行・発信力

実践者であり指導者

地域の担い手

#### コース全体の取組

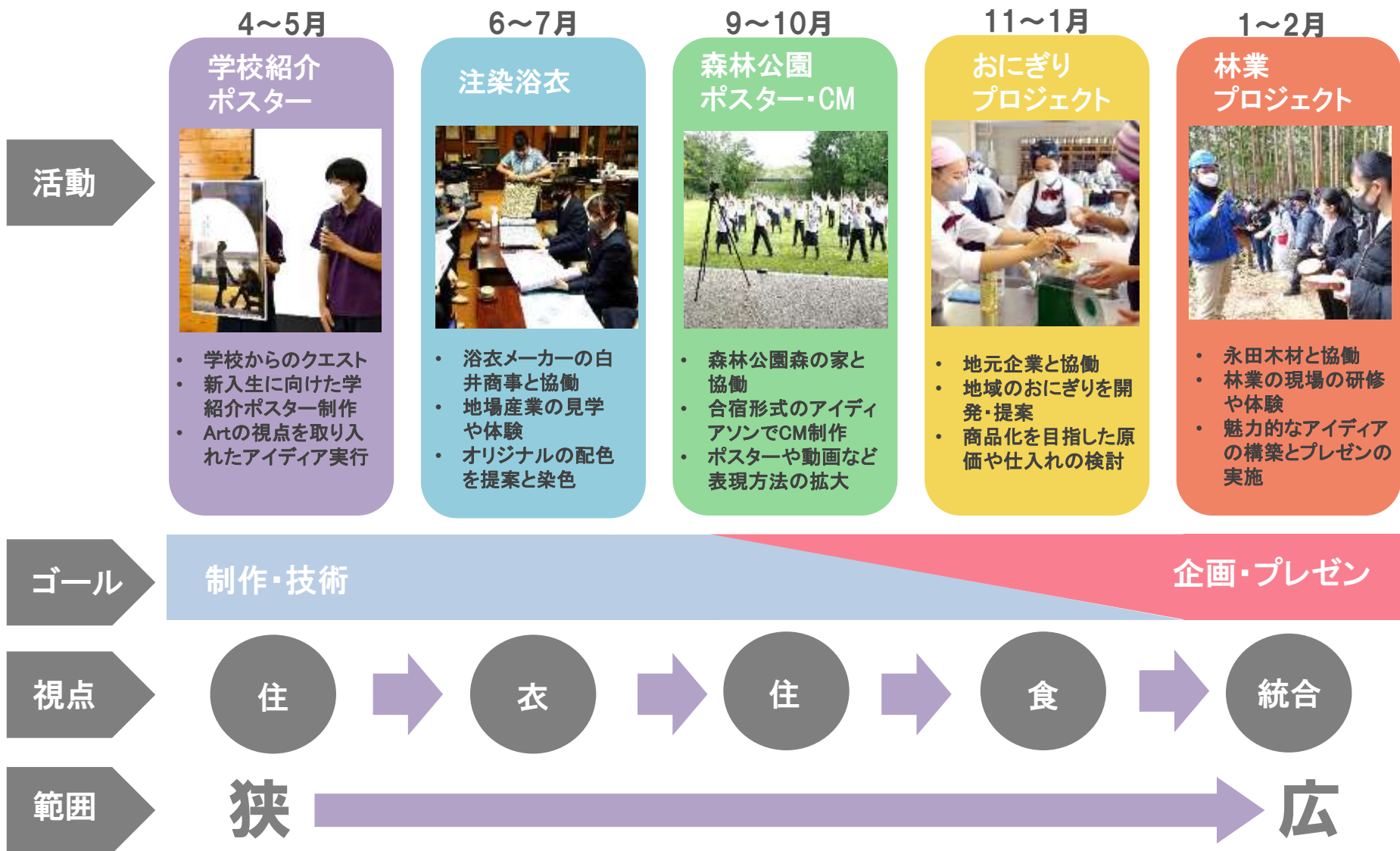
#### 文化祭

- ・ 学年を縦断する縦割りでコースプロジェクトの企画・運営
- ・ 異なる学年集団との協働を通じて、合意形成
- ・ 地域の産業や魅力を来場者に向けて発信するイベント



## 2. カリキュラムの開発成果

### ①学びの系統性 1年生のプロジェクトと系統性



## 2. カリキュラムの開発成果

### ①学びの系統性 2～3年生の系統性

#### クエスト実行

##### 企画

地域の魅力発進に向けて、グループで衣食住の観点から、地域の魅力を伝えるアイデアを構築

##### 試行

地域のプロフェッショナルの力を借り、アイデアの実行に向けて、試作と効果を検討

##### 理論化

企画したアイデアの地域貢献について理論化。  
外部コンテストへの応募や校内発表

##### 実行

地域のプロフェッショナルと協働し、アイデアの実現に向けた取組

##### 検証

1年間の振り返りと評価  
コンテスト等の成果報告会と共有

#### 中間発表1

- ・実行企画の方針決定
- ・中間発表(評価①)

#### 中間発表2

- ・校内成果発表(11月)
- ・外部コンテスト応募資料
- ・中間発表(評価②)

#### 学年末振り返り

- ・外部コンテスト(1～3月)
- ・成果報告(3月)
- ・学年末振り返りシート(評価③)

#### 研修旅行

##### 研修旅行(2年生11月実施)

現地での取り組みのフィールドワーク → 調査レポート作成  
ポスタープロジェクトの実施 → 教材化の検証



## 2. カリキュラムの開発成果

### ②取り組みの成果(活動の継続による学びの系統性の証明)

#### クエスト実行

1年生 染色提案  
(地場産業を知る)



2年生 オリジナル染色に挑戦  
(メーカーとの協働)



2~3年生 シャツの商品化  
(染色生地をシャツとして販売)



#### クエスト実行

2年生 観光甲子園動画3年連続決勝進出の  
動画制作技術が認められる



JTB・御前崎市・学芸高校の連携プロジェクトへ発展  
(ワーケーションのプロモーション動画を担当)



#### その他のクエスト

禁煙啓発CM



学校紹介動画



摘果ミカンジャム



オリジナル配色



三浦学苑高校との協働





## 2. カリキュラムの開発成果

### ③Artの観点を用いた実践の教材パッケージ活用事例

2019年  
鱒ヶ沢高校  
(青森県)



2020年  
白山高校  
(三重県)



2021年  
三浦学苑高校  
(神奈川県)



Artの視点を用いた魅力発信活動  
地域での学びには先行事例が少ない  
地域を見る視点の変化



地域のポスター制作を教材パッケージ化



成功事例を共有化する仕組みづくり



何気ない身近な景色に価値を見出した

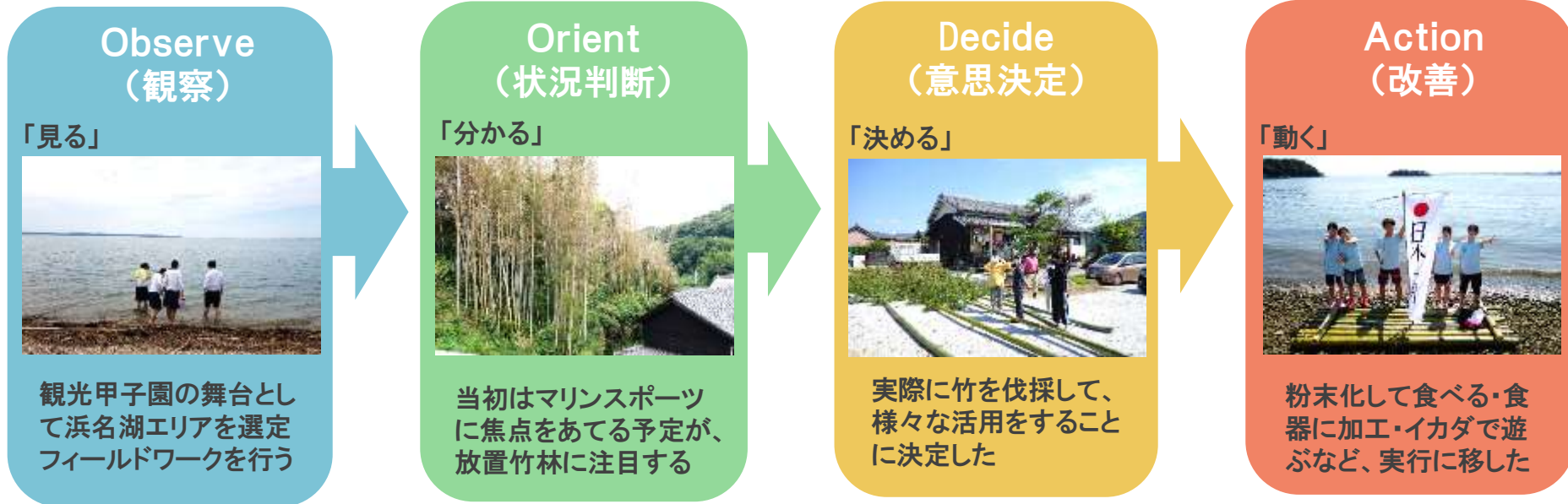
## 2. カリキュラムの開発成果

### ④プロジェクト型学習におけるOODAループの有効性

総合学習や課外活動での地域の魅力発信に限界を感じた

学校設定科目として地域創造概論(2単位)・地域創造演習(2単位)を設定

プロジェクト実行には「PDCAサイクル」より「OODAループ」が有効



クリエイティブな現場ではOODAループが有利  
変化に対応しやすい → プロジェクト学習の特性に対応しやすい考え

### 3. コンソーシアムの成果

#### コンソーシアムメンバーの構成

##### 【内部メンバー】

理事長・学校長・副校長・普通課長  
プロジェクトリーダー・地域創造コース教員

##### 【外部メンバー】

白井商事株式会社      ポップチャイルド  
永田木材株式会社      食品会社アドバイザー  
ヤタローグループ観光事業部      薩川製作所

#### ①異業種団体によるオール民間の構成

- 外部コンソーシアムは遠州ビジネス交流会等の様々な民間企業
- 外部コンソーシアムメンバーがコーディネータを兼ねて、生徒の希望と地域をつなぐ役割を果たす
- 民間ならではの迅速な意思決定と行動力

#### ②プロジェクトの実行者であり評価者



林業（永田木材様）



浴衣染色（白井商事様）



森林公園（ヤタローグループ様）



おにぎり（池田様）

私立ならではの機動力を生かしたプロジェクト実行→地域のニーズを確認

地域に開かれた学校、そして地域に必要とされる学校へ→コース定員の充足を達成